



「赤シソ担いでやってきた」新入生

昨年末、学院の卒業生からたっぷり3時間以上、お話を伺う機会がありました。

お越しいただいたのは中村優斗さん。現在、大阪電気通信大学工学部の4年生。彼の大学での研究がHPに掲載されていると聞いて拝見したところ、本校在籍時からのエピソードの延長線上に彼の大学でのプロジェクトがあったということを知り、ぜひお話を聞かせていただきたいと、私からお願いして来校していただいたのでした。

本校在籍時の印象に残ったエピソードから中村さんに尋ねました。まず、彼からは「理科の牧野先生の授業がとても印象に残っている」という答えが返ってきました。

「大原特産のシソをなんとか活用できないか」牧野先生がよくその話をされていたことが脳裏に焼き付いていて、自分もふるさと大原のために、特産である赤シソを活かした何かができないか、そういう思いを高校に入る頃からすでに持っていたそうです。

中村さんは高校に進学後、ご両親のすすめで大阪電気通信大学のオープンキャンパスに参加。そこで後に彼が師事することになる教授の講義を受けて感激し、学生主体のプロジェクトが盛んなことを聞くと、「ここで赤シソを活かした何かをやるための研究をする」高校1年の夏にそう決め、以後何度も大学キャンパスに足を運ぶことになります。あまりにも早い「進路決定」に、高校の先生方が「そんなに早く決めてしまわなくても」とブレーキをかけてもその思いは揺るがず、大学進学のため猛勉強、苦手な理系教科も「研究したい」一心で乗り越えて初志貫徹、無事入学を果たしました。

大学に何度も足を運ぶ彼を大学の先輩は「京都から赤シソを担いで入学してきた1年」親しみを込めながらそう評したそうです。彼はその期待に見事に応える結果を研究で出すことになります。

まず彼の「京都大原シソプロジェクト」は、学内のプロジェクトに認定されます。そしてシソから「パルス電界処理」という技術で成分を抽出、シソシロップ制作、イベント用にはシソの葉まで活かした琥珀糖を完成させました。

さらに、京都技術科学センター主催の「テクノ愛2023」への出場、そして農林水産省主催の「アグリビジネス創出フェア2025」にもブース出展と、彼の研究は学外からも確かな評価を受けることになりました。

「大原は、私にとって『自分のことを知ってくれている人がいて、いつでも帰れる安心の地』です。コロナ禍で観光客が激減し、危機に瀕したふるさとを見て、観光だけに頼らず、地域の特産品＝シソを活用した地場産業で大原を活性化できないか。そういう思いがありました」穏やかな笑顔で彼は話します。

「あなたの進路に京都大原学院での学びは役に立っていましたか」と尋ねました。彼は「役に立ちました」と即答。「大原提言に取り組んで、探究型の学習のスキルも、パワーポイント、ワードでの文書作成などプレゼンテーションの基礎力が身に付きました。何より、大原の特長を活かしたふるさとの活性化という視点やテーマの原型を自覚することができました」そう語りました。

「大原学院に在籍するだけで、地域の人との交流を自然に深められていた」彼はそう言います。彼の「ふるさと大原への思い」が本校での地域学習を通じて、「特産品で観光以外の貢献ができないか」という課題意識へと成長し、それが卒業後の研究に繋がったことは、本校にとって大きな誇りです。

中村さんは今春、就職で京都を離れます。彼の実社会でのご活躍を心からお祈りいたします。

*大阪電気通信大学HPにアクセスすると、「地元の町おこしを本学で実現！京都大原シソプロジェクトに取り組む」2025.11.10」という見出しで中村優斗さんのプロジェクトが紹介されています（右のQRコードからどうぞ）。



令和7年度



2月行事予定



日	曜	学校行事・PTA・地域・保健行事など	
1	日		
2	月	素読教室 春時間開始(16:15・17:00)	
3	火	昼)本部 ②③節分会(三千院)1~4年	
4	水	フッ化物洗口 ⑤⑥音楽鑑賞教室(京都コンサートホール)5年 合同部活動(4年生:体験・見学)	
5	木	昼)エンニコタイム AM)小さな巨匠展 にじいろ2・3・5年 制服渡し(本館多目14:40~15:00)4年	
6	金	②漢字能力検定試験(1~6年) 昼)中央委 ⑤⑥入学説明会・半日入学	
7	土		
8	日	京キッズラン	<div>発見旅行 (6年)</div> <div>10日(火)は、月の諸費引落日です。 ご入金よろしくお願いします。 25日(水)に、PTA古紙回収を行います。 地域の皆様、ご協力をお願いします。</div> <div>諸費引落日</div>
9	月	素読教室	
10	火	昼)本部	
11	水	<建国記念の日> テスト1週間前(7,8年)	
12	木	⑥専門委(9年最終)	
13	金	学校安全の日	
14	土	わらんべ 春まち日(午前:多目的)	
15	日		
16	月		
17	火	昼)本部	
18	水	フッ化物洗口 ③④京都水族館出前授業(3・4年)	<div>学 年 末 テ ス ト (7・8年)</div> <div>この印刷物が不要になれば 「雑がみ」として古紙回収へ！</div>
19	木	①~⑥社会見学(府警本部・平安騎馬隊)3年	
20	金	昼)中央委 ⑤⑥認知症学習会(7・8年)	
21	土	学校運営協議会	
22	日		
23	月	<天皇誕生日>	
24	火	昼)本部 ⑤⑥職業調べ発表会(5・6・7年)	
25	水	フッ化物洗口 終日)ぴーちく15周年記念行事(講堂) 合同部活動(4・5年生:見学・体験) 古紙回収	諸費引落日(再)
26	木	専門委員会(9年なし)	
27	金	集会(朝) 見守り隊感謝の集い ふれあいタイム(5年) ⑤前期ブロックを振り返って(本館多目)4年 懇談会(⑥:1~4年/放課後:5~8年)	
28	土		

この印刷物が不要になれば
「雑がみ」として古紙回収へ！

3月の主な予定

2(月)夏時間開始(16:30・17:45)

6(金)公立中期選抜

9(月)校外学習9年

12(木)9年生を送る会

13(金)卒業式

19(木)修了式

30(月)離任式

百人一首大会1月8日(木) 7~9年

今年度も、企画から運営までを8年生が主体となっており、進行や準備など、どの場面でも頼もしい姿が見られました。

競技は学年対抗のチーム戦として行われ、白熱した展開が続く中、見事8年生チームが優勝を飾りました。同時に札を取った際には、お互いに譲り合う姿や、良いプレーには自然と拍手が起こるなど、スポーツマンシップならぬ「カルタマンシップ」が光る、温かい雰囲気の大大会となりました。



避難訓練 1月14日(水)



地震に伴う火災発生を想定した避難訓練を行いました。雪がちらつく寒さの中ではありましたが、生徒たちは落ち着いて行動し、全員が安全にグラウンドへ避難することができました。当日は、左京消防署大原消防出張所の職員の皆さまにもお越しいただき、避難時の注意点や「お・は・し・も・て・て・て」（おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない・低学年優先・低姿勢・手を口に）とい

う大切な合言葉についてご指導いただきました。ご家庭でもぜひ話題にさせていただき、いざという時に落ち着いて行動できるよう、引き続きご協力をお願いいたします。

左義長 1月15日(水) 1~4年

1月15日、前期ブロックの学院生が三千院で行われた左義長に参加しました。境内には勢いよく炎が立ち上がり、子どもたちはその迫力に目を輝かせていました。

御門主様からは、「炎と一緒に、学力もお年玉も上に上がっていきますよ」という、ユーモアのある励ましのお言葉を頂戴し、子どもたちにもこやかに耳を傾けていました。

お焚き上げのあとには、温かいおぜんざいをみんなでいただき、心も体もぽかぽかになりました。地域の伝統行事に触れる中で、子どもたちにとって貴重な学びと体験のひとつとなりました。



学習参観・講演会・作品展 1月16日(金)



今年も、全学年を対象に学習参観を行いました。子どもたちが人権について学び、自分ごととして考える場面をご参観いただき、ありがとうございました。その後、体育館で講演会を行いました。「疑似体験を通じて知的障害を正しく理解しましょう」というテーマで、(一社)京都手をつなぐ育成会の方々が講演してくださいました。

講演では、スキット「ヘルプマークって何？」や「私のことを知ってください」を通して、知的障害のある方の思いや困りごとについて分かりやすく教えていただきました。また、知的発達障害の基礎知識や接し方のポイントについても丁寧に説明があり、体験活動「描いてみよう」では、言葉のコミュニケーションの難しさを実際に感じる事ができました。講演の終わりには質疑応答の時間も設けられ、児童生徒や教職員からの質問に丁寧に答えていただきました。





同日と19日には作品展も開催しました。講堂には全学年の学院生による作品が並び、どれも丁寧に取り組んだ様子が感じられ、見ていて心が温まる空間となりました。地域の皆さまからも多くの素晴らしい作品を出展していただき、子どもたちも時間をかけてじっくり鑑賞していました。ご協力くださった皆さまに心より感謝申し上げます。来年もどうぞよろしくお願いいたします。

給食週間 1月26日(月)～30(金)

1月26日から30日にかけて行った給食週間では、豆つまみ大会や大原産米の給食、ポスターづくり、食育の学習など、食への関心を高める活動に取り組みました。子どもたちは楽しみながら、マナーや地域の食材について理解を深めることができました。



給食は、栄養を取るだけでなく、仲間とおいしさを共有する楽しさや、旬・行事食への理解、そしてバランスよく食べることの大切さを学ぶ機会でもあります。



いつも何気なく食べている給食ですが、「食べ物のこと」「健康のこと」「給食ができるまでに働いている人のこと」など、さまざまな思いを巡らせながら食べる一週間となりました。これからも、一食一食を大切に、食への感謝の気持ちを育てていきたいと思います。

英語PICNIK 1月27日(火) 7～9年



多文化交流の「PICNIK」を実施しました。今回はメキシコの方が来校され、メキシコと日本の文化の違いについて教えてくださいたり、伝統的なダンスを紹介して下さったりしました。

9年生は司会を、8年生は大原の紹介を、7年生は大原学院の紹介を、それぞれ英語で発表しました。緊張しながらも堂々と伝える姿が印象的でした。

交流の後には、多くの子どもたちが「楽しかった！」と笑顔を見せ、異文化に触れる時間をしっかりと楽しんでいました。

三千院学習報告会 1月28日(水) 5年

5年生は「大人になる科(総合的な学習の時間)」の取組の一つとして、大原について学ぶ「三千院学習」を行ってきました。28日(水)には、その学習のまとめとして報告会を実施し、学院生一人ひとりが学習を通して感じ取った「大原のよさ」について発表しました。

当日は、学習でお世話になった三千院の皆様、地域の皆様、保護者の皆様にお越しいただきました。緊張した表情も見られましたが、どの児童も堂々とした態度で、これまでの学びをしっかりと伝えることができました。地域の方からは「指さしや視線にまで気を配った、たいへんよい発表でした」とのお声をいただき、児童たちの成長を感じる場となりました。

